

平成 25 年 12 月 27 日

医療法人愛生会 総合上飯田第一病院

## 1. 施設の概要

所在地：愛知県名古屋市北区上飯田北町2丁目70番地

病床数：230床（一般病床）

病院HP：<http://www.kamiida-hp.jp/>

## 2. 地域及び施設の特徴

総合上飯田第一病院は名古屋市医療圏に属しており、一般230床を有する二次救急医療機関である。当病院は二次医療圏の北部の二次救急受入れ病院が空白地域にあり、主に交通事故等の脳外科・整形関連の救急患者が多い。

また、市立病院再編に伴い、近くにあった旧城北病院がやや西方へ移転し、名古屋市立西部医療センターが開設されたため当病院が当地域での救急医療を担っている。



## 3. 事業計画及び資金計画

### (1) 事業計画

平成24年に同施設が機構融資を受けて実施した増改築計画は次のとおり。

- ① 耐震化整備を伴う増築棟の建築
- ② 手術件数の増加に伴う手術室の増加（5室から6室へ1室増）
- ③ 大型放射線機器導入のためのスペース確保

### (2) 資金計画等

建築資金（設計監理料含む）	1,054,000千円
機構借入金	1,000,000千円
増改築面積	3,949.38㎡

## 4. 施設整備におけるポイント

### ① 救急車受入れ時の動線の改善

救急車受入れ時において、搬入口から処置室までの動線確保が問題とされていた。

増築前には救急車専用の搬入口がなく、スロープを経



救急車専用の搬入口

由して外来の待合室を通過せざるをえなかった。増築棟には救急車専用の搬入口を設置し、直接処置室へ救急患者を搬送することが可能となり、患者の動線が改善された。

## ② 増築及び改修工事によるスペースの確保

増築により拡張した主な医療スペースは次の通り。

- ・手術室 6 室を確保した。
- ・腎・透析センターを設置した（10 床）。
- ・救急外来診察室を設置した。
- ・救急外来処置室を設置した。
- ・3 テスラMRI 装置、128 マルチスライスCTを導入するためのスペースを確保した。



透析室



透析室（個室）

## 5. 施設整備による病院機能の向上

救急外来診察室、救急外来処置室を新たに設置したことにより、救急医療体制をより充実させることができた。また、手術室の稼働率も向上し手術待ちの解消が図られ、患者様の負担を軽減できている。

増築により改善された救急搬送受入れ体制の更なる強化のため、年に1回の医師会主催による診療所との地域連携協議会や2カ月に1回の救急隊参加の救急委員会の開催を通じて、情報交換を行い地域医療の連携強化を図っている。

また、増築に伴い医療機器設置スペースを確保し3テスラMRI装置、128マルチスライスCTを導入。MRI、CT共に2台体制が確立できたことにより、以前と比較し患者様に適時・適切な検査を提供できるようになった。特にMRIの機器導入は、適宜・適切な検査の提供に大きく貢献している。

事業計画の成果として平成23年度（増築前）と平成25年度（増築後）とを比較すると、



3テスラMRI

手術件数においては月平均 30 件増加となっており特に整形外科の手術待ちが解消された。また、同期間を比較すると救急搬送受入れ件数が、月平均 70 件増加となっており、今年度は年間 3000 件を超える件数が見込まれる。救急受入れが増えたことにより入院患者数も増加し増収にも貢献している。

#### 6. 今後の課題

当初の中期計画に基づき、増築棟に腎・透析センターを開設、乳腺センター、消化器内視鏡センター等の各部門においてセンター化を推進しており、患者数の増加がみられている。これらを踏まえ、他部門においても患者動向を見極めつつ更なるセンター化推進が課題となっている。

また、既存施設には未耐震部分もあるため、その建替えを検討する必要があることも大きな課題となっている。

以上